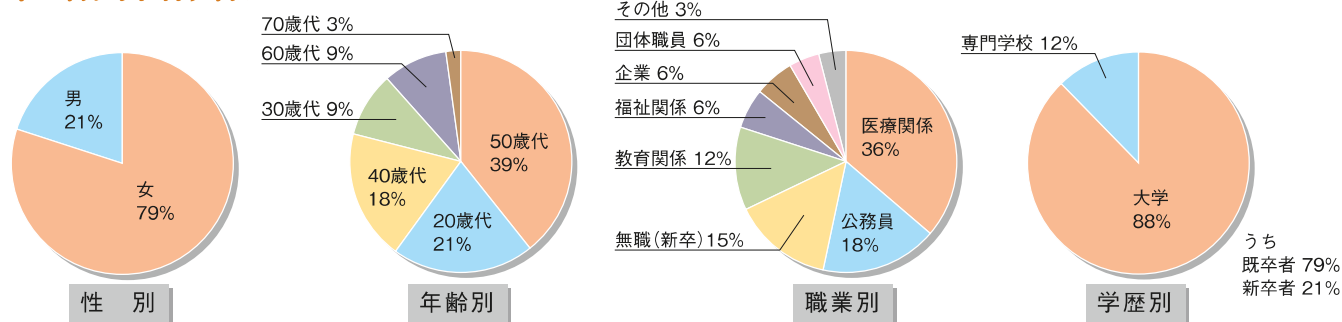


在籍者情報 (2025年5月現在)



修了生の声・在院生の声

修了生 井上 亜里さん (公務員 児童福祉司)

児童福祉にまつわる仕事に長年勤めてきた集大成として、大学院に進みたいかねてから考えておりました。仕事の両立に不安があり、科目履修生として通学しましたが、入学後に取得した単位が認められるので、無理なく授業を選択することができました。修論に取り組み始め、論文を作り上げる難しさに直面しながらも、指導教員の励ましや、同じゼミの仲間とのやり取りなどで何とか乗り切ることができたと思います。こんなにも自分の研究に時間をかけられることは、今後無いのではないのでしょうか。とても良い経験をさせていただきました。



修了生 小堤 歩さん (大学病院 認定社会福祉士・医療分野)

日々の実践の傍ら研究活動も行っていましたが、自己流の研究に限界を感じ大学院への入学を志望しました。大学院生活で得た最大の成果は、“学ぶよろこび”に尽きます。先生方の熱心なご指導、他の院生との切磋琢磨、そして自身の研究テーマと向き合い先行研究を通して多くの文献に触れたこと等によって実践家としての見識も深めることができました。人生100年時代、今後は大学院で得た学びをもとに白首窮経の精神で励んでいきたいと思っています。



修了生 高倉 千ほみさん (病院勤務 看護師)

研究を通して、医療福祉に対する知識を深めたいと考え入学しました。授業では、今まで関わることがなかった分野の方々と楽しく交流ができた新たな気付きと視座を高めることができました。働きながらの通学は大変でしたが、オンライン講義などもあり学びやすい環境だったと思います。また研究を基礎から学ぶことで、論理的な思考を文章化する訓練ができ、自分自身の成長と強みになりました。皆様にも楽しく学んでいけることをお勧めしたいです。



在院生 坂神 裕子さん (第3次救急医療機関 管理栄養士)

大学院進学を志した理由は2つあります。1つは業務での臨床経験を学術的にまとめたい。もう1つは、入院してくる患者の退院後の機能低下防止に貢献したいと思ったからです。「仕事と学業の両立」「体力の持続」など不安もありましたが、社会人でも学びやすい柔軟な履修形態や先生方の丁寧な指導に支えられ、充実した大学院生活を満喫しています。大学院での出会いや経験、学びの時間は「人生最高の宝物」になると思っています。



在院生 杉浦 裕子さん (急性期病院 医療ソーシャルワーカー)

医療機関で働く数少ない福祉職として、MSWの役割や専門性に悩んでいたとき、研究という方法でこの問題を明らかにしたいと思い入学を決めました。仕事と研究の両立は大変ですが、大学院は私にとって仕事や学び、そして生活のバランスを取るための大切な居場所になっています。先生方や志を同じくする仲間との議論から多くの刺激や学びを得られ、恵まれた環境で学べていると実感しています。安心して悩める場がここにあります。



在院生 山中 真智子さん (介護福祉士養成施設 専任教員)

介護福祉士養成校から学生を社会に送り出す中で感じていたことを研究という形で解決したいと思い、入学を決めました。介護福祉士として働くことを決意した学生たちの後押しになるような研究を目指しています。夜間の大学院ということで環境調整への不安がありましたが、オンラインの講義や集中講義を活用することで通うことができています。大学院では様々な職種の仲間から刺激を受け、助け合いながら学習することができています。



充実した学習・研究環境

付属図書館

付属図書館は本学の全キャンパス(合計4館)に配置され、幅広い資料を収集・提供しています。社会福祉関連資料の蔵書数は国内有数です。院生の方は、開館時いつでも研究・学習に活用できます。

貸出しは3ヵ月以内、40冊まで可能です。

月～金 / 10:30～22:30

土 / 10:30～18:30



院生研究室

院生専用の共同研究室を設けており、研究・学習のために、日曜日を含めてキャンパス開館時間であれば自由に利用することができます。

研究室には、院生共用エリア、演習室、応接指導室、休憩室等があり、研究・学習に必要なパソコン、プリンター、コピー機、個人用ロッカー等を整備しています。

月～土 / 9:00～23:00 日・祝 / 9:00～17:00

